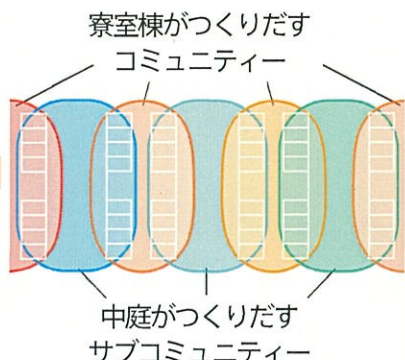


「農知」交流の場:「(仮称)ふくしま農業人材育成センター」 農業において交配により品種改良が行われるように、学びにおいても教室や現場でのカリキュラム上の正規の学びにとどまらず、課外の活動や経験の中での他者と交流、いわば考えの交配を行うことで、新たな価値や力を生み出すことができます。そこで我々は「(仮称)ふくしま農業人材育成センター」(以下人材育成センター)での学びの中に農業従事者、消費者など様々な他者との交流の機会をつくり出すことで人材育成センターを様々な農業に関する知の交流の場とすることを目指して、様々な立場の人々との対話を重ねながらつくりあげていきます。

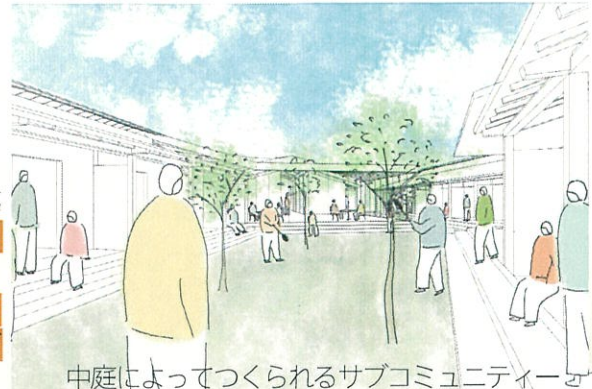
寮室棟

寮室棟は人材育成センターを構成する最も重要な基本ユニット。そこで各寮室棟は学びと生活の良質な基本単位となるよう、品質の高い寮室(17室~30室、全室中庭に面したテラス付)と棟内の住人が共有する共用部(浴室およびラウンジ)とを組み合わせてつくり出す。



中庭によるサブコミュニティ

中庭はこれを取り囲む寮室によって形成されるコミュニティをつくり出します。寮生にとっては寮室棟が作り出すコミュニティとは半分ズレた(半分構成員が異なる新しいサブコミュニティ)。このようなサブコミュニティの存在は寮生たちのコミュニケーションのあり方にダイナミズムを与えていきます。



寮生活のハブとなるコモンスペース。

全ての寮室棟は全体をつなぐハブとして機能するコモンスペースに接続されており、寮生や、研修生・講師などの宿泊する利用者は必ずこのコモンスペースを通過して各室に向かうことになります。ただしこのコモンスペースは単なる廊下(動線空間)ではなく、天井高や平面的な屈曲、開口のとり方などによって滞留したくなるような場が色々と設えられた滞留空間でもあり、寮生たちの生き生きとした学習や交流を生み出す場となります。



外観、切妻屋根の集合する景色

生活交流エリアの寮室棟は単純な切妻屋根を少しずつ角度を振って配置することで寮室が連続する空間の単調さを回避しています。またこれに付随して中庭も平面形として長方形や平行四辺形ではなく角度が振れた四角形となり動きのある豊かな空間となります。県産材をふんだんに使うことで、地域の風景に溶け込みつつ暖かみのある農業大学らしい風景をつくり出します。

